

## 「高校を卒業した翌週に、東京へ単身上京しました」

実は、高校2年生のときから、東京に物件の相場を調べに行っていました。実際に不動産屋に話も聞いたりして。高校3年生になると、親を説得し、住む場所も決め、卒業後すぐ引っ越しできる準備をしました。もちろん、両親も友達も心配したと思います。でも、“行かなきゃ”という気持ちの方が強くて…、そんなことは関係なかったんです。

いざ上京すると、昼間はパン屋さんでアルバイト、夕方にレッスンをして、夜はダイニングレストランでまたアルバイト。2つのアルバイトを掛け持ちながらレッスンに通うという生活をしていた時期がありました。オーディションを数えきれないくらい受けても全然受からなかったり、自分で作ったデモCDをレコード会社に100枚近く送ったと思うのですが、何もお返事を頂けなかったり、同じレッスンに通っている子たちはどんどんチャンスを手にしていく中で、私はなかなかチャンスを掴めず、上京してからはしばらくは不安と寂しさで毎晩悔し涙を流していましたね。くじけそうになったりもしました。でも、親の声を聞くと泣きそうになってしまうので、半年くらいは自分からは一切連絡もせず、2～3年は実家にも帰らなかったです。“生活が軌道に乗るまでは帰らないぞ！”そう、心に決めていました。



インタビューを受けるTiaraさん

そしてある時、ご縁があってコーラスのお仕事のチャンスを頂いたんです。

当時から、今もお世話になっているYANAGIMANさんというプロデューサーにご協力して頂きながらデモ楽曲を制作していたんですけど、そこにたまたまケツメイシのディレクターさんが予定の時間より30分早く打ち合わせにいらっしゃいまして、早く着いてしまったということで少しの間私の歌を聴いてくださって、そこで「明日ケツメイシのコーラス録りをしたいんだけど、やってみる？」とお声をかけて頂いたんです。私の中で驚き、嬉しさと不安とでいろいろな気持ちが込み上げました。初めてのプロの現場でとにかく



緊張しましたが、“次に繋げたい”“認めていただきたい”という一心で頑張ったのを覚えています。それがケツメイシさんの「君に BUMP」というシングルに収録されているカップリング「そばにいて」という曲になります。それからケツメイシさんには、「さくら」をはじめ、アルバム曲にもたくさん参加させていただきました。まだ素人だったのに、現場で学ばせていただいたことは本当に感謝しています。

そして、私の声を聴いてくださったスタッフの方が、また別のコーラスのお仕事をくださったり、それを聴いてくださった方がまた別のお仕事をくださったり・・・、そんな風にどんどんと繋がって行って、2007年にソロでインディーズデビュー、そして昨年9月にメジャーデビューというところまでくることができました。1st シングル「さよならをキミに…feat. Spontania」で参加してくれた Spontania とは、その時代に知り合って、当時から「いつか私がデビューした時には一緒に曲を作りたいね」と話していたので、デビューシングルでそれが叶ってとても嬉しかったです。いろいろ辛いこともあったけれど、デビューして改めて“今までの事は全て無駄ではなかった”と実感して、2nd シングル「キミがおしえてくれた事 feat. SEAMO」で、浜松から上京した18歳の時のことからこれまでの出会いや別れについてを描きました。

夢を追いかけて浜松を離れた時は本当に辛くて寂しかったけれど、あの時流した涙は必要なことだったんだなって、そう思ったんです。

### 「等身大の自分を、そのまま曲に」

私は楽器があまりできないので、ほとんどが鼻歌作曲です(笑)。お買い物中、入浴中、ふとした瞬間にメロディーと歌詞が突然ふわっと頭の中に流れてくるんです。そういうときのために IC レコーダーを持ち歩いているので、電信柱やビルの木陰でこっそり録音しています。通りすがりの人に変な目で見られることもありますけど、大分慣れました(笑)。

曲を作るとき、歌うときは、誰に向けて発信しているメッセージなのかということに第一に考えています。歌詞はほとんど実体験です。背伸びもしたくないし、普通に生活していて思ったこと、感じたこと、悲しみ、喜び、怒り、不安…それらを、できるだけ着色せず素直に表現するように心がけています。



HAMA 流第 5 号撮影の様子

きっと、多くの女性の皆さんも同じ気持ちだと思うから。

そのために、「私らしさとは何か？」を常に考えながら行動しています。周りの方がどう思っているかよりも、自分がどう思っているかを大事に。自分のマインドと向き合いながら生活しています。

### 「浜松で生まれ育ったことを、とても誇りに思っています」



大きな空と湖、太陽、青く茂る緑……。浜松のこの豊かな自然環境は、胸を張って世界中にアピールしたいくらい素晴らしいと思います。あとは、浜松まつりですね！毎年お祭りの時期になると帰りたくなっちゃいます！！昔は、お祭りのために生きていた感じで、いい肉襦袢を買いたいがためにお小遣いを貯めていました(笑)。私の唯一できる楽器はお祭りの笛。実際上京するときも、持ってきましたよ。ときどき“吹けるかな？”って確認しています。だいぶ下手になっていて、インターネットで浜松まつりの笛の練習用動画を見て、懐かしんだりしています(笑)。

浜松にライブで行くというアーティストには、アクトタワーの展望台を勧めていますよ。片方は大きな空と海。反対側は美しい山々を見渡せて、とても好きな場所です。それから、車で地方へ出かけるミュージシャンたちには“浜名湖サービスエリアにぜひ寄ってみて！”と勧めています(笑)。浜名湖に囲まれたあの立地にはみんな感動していますね。

浜松の美しい自然に囲まれて育ったことを、私自身とても誇りに感じています。もっともっと、浜松と、浜松人の素晴らしさを全国にアピールできたらいいな。“浜松代表のアーティスト”として皆さんが胸を張って言えるような、そんなアーティストになれるように頑張りたいと思っていますので、皆さん、応援よろしくお願いします！